(54) NONAQUEOUS ELECTROL BATTERY

(11) 63-202859 (A)

(43) 22.8.1988 (19) JP

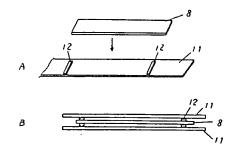
(21) Appl. No. 62-35017 (22) 18.2.1987

(71) MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD (72) HIROFUMI OISHI(3)

(51) Int. Cl4. H01M6/16,H01M4/06

PURPOSE: To improve the penetration of an electrolyte into a negative electrode by melt-bonding fibrous nonwoven fabrics smaller than a separator in at least two portions of a microporous separator, and pressing a metallic lithium plate serving as a negative active material against the nonwoven fabrics for fixing.

CONSTITUTION: A metallic lithium plate 8 serving as a negative active material is pressed against a microporous separator through fibrous nonwoven fabrics 12 in at least two portions for fixing. When a positive electrode and a negative electrode covered with the separators 11 are spirally wound, the winding slippage is generated in only the lithium plate 3, and the direct contact of the positive electrode with the negative electrode are prevented. Since need for complete wrapping of the lithium plate with the separators 11 is eliminated, the penetration of an electrolyte into the vicinity of the negative electrode is improved.



(54) FUEL CELL SYSTEM

(11) 63-202860 (A)

(43) 22.8.1988 (19) JP

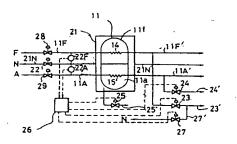
(21) Appl. No. 62-34451 (22) 19.2.1987

(71) TOSHIBA CORP (72) HIROSHI HAYASHI(1)

(51) Int. Cl4. H01M8/04

PURPOSE: To increase differential pressure control function to increase safety and reliability and to remove the danger of firing and explosion of fuel gas by opening an inactive gas exhaust valve according to differential pressure control.

CONSTITUTION: When differential pressure signals $\triangle P1$ and $\triangle P2$ which are detected with a fuel gas side differential pressure gage 22F and an oxidizing agent gas side differential pressure gage 22A respectively exceed a setting value, a fuel gas exhaust valve 23 and an oxidizing agent gas exhaust valve 24 are opened by a control signal from a differential pressure controller 26 and both gasses are exhausted until the differential pressures enter a differential pressure control range $\triangle P$. When differential pressure signals $\triangle P1$ and $\triangle P2$ decrease below the setting value, the differential pressure controller 26 opens an inactive gas exhaust valve 25 to decrease the pressure P_{N1} of inactive gas N in a sealed container 21. Thus, dangerous differential pressure is removed. By simultaneously opening the fuel gas exhaust valve 23 and an inactive gas exhaust valve 27, fuel gas is diluted with inactive gas N and exhausted in the atmosphere.



1: fuel cell main body

(54) METHANOL FUEL CELL

(11) 63-202861 (A) (43) 22.8.1988 (19) JP

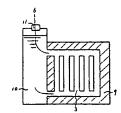
(21) Appl. No. 62-33303 (22) 18.2.1987

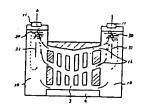
(71) HITACHI LTD (72) TOSHIO SHIMIZU(2)

(51) Int. Cl⁴. H01M8/04,H01M8/06

PURPOSE: To effectively supply fuel without use of a pump by exhausting outward the produced gas through the liquid phase of fuel in a fuel tank.

CONSTITUTION: The liquid level of fuel in a fuel tank 10 is heightened than the upper edge of a fuel chamber 3. The fuel is supplied to the fuel chamber 3 from the lower part and carbon dioxide gas 6 produced diffuses through the fuel in the fuel tank 10 and is exhausted outward through a carbon dioxide separating film 11. An impeller 30 which rotates by movement of the produced gas is installed in a produced gas exhaust path in the fuel tank 10, and the fuel in the fuel tank 10 is stirred by the rotation of the impeller 30.





CC

(54 (11

(21 (71

(51 Pl

(54 (1) (2) (7)

Pi

Ct

--/5

(1 (2 (7 (5

P

C



(11)Publication number:

63-202859

(43)Date of publication of application: 22.08.1988

(51)Int.CI.

H01M 6/16 H01M 4/06

(21)Application number : 62-035017

(71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO

LTD

(22)Date of filing:

18.02.1987

(72)Inventor: OISHI HIROFUMI

KANO YUJI

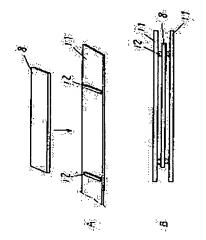
TSURUTA KUNIO FUJII TAKAFUMI

(54) NONAQUEOUS ELECTROLYTE BATTERY

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve the penetration of an electrolyte into a negative electrode by melt-bonding fibrous nonwoven fabrics smaller than a separator in at least two portions of a microporous separator, and pressing a metallic lithium plate serving as a negative active material against the nonwoven fabrics for fixing.

CONSTITUTION: A metallic lithium plate 8 serving as a negative active material is pressed against a microporous separator through fibrous nonwoven fabrics 12 in at least two portions for fixing. When a positive electrode and a negative electrode covered with the separators 11 are spirally wound, the winding slippage is generated in only the lithium plate 3, and the direct contact of the positive electrode with the negative electrode are prevented. Since need for complete wrapping of the lithium plate with the separators 11 is



eliminated, the penetration of an electrolyte into the vicinity of the negative electrode is improved.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

m 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭63 - 202859

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

國公開 昭和63年(1988)8月22日

H 01 M 6/16 4/06 D-7239-5H X-7239-5H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

劉発明の名称 非水電解質電池

> 昭62-35017 ②特 頤

> > 敏 男

昭62(1987) 2月18日 ❷出

石 裕 文 砂発 眀 者 大 祐 明 者 加 納 砂発 邦 夫 眀 B の発 者 鶴 文 井 绛 砂発 眀 者 松下電器産業株式会社 ①出 願 人

弁理士 中尾

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器座業株式会社内 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

大阪府門真市大字門真1006番地

外1名

蚏

1 、発明の名称

砂代 理

非水電解質電池

2、停許請求の範囲

金属リチウムを活物質とする負額と、正征とが セパレータを介して渦巻状に巻回されて裾板群が 構成され、との征板群と非水電解質とが容器内に 封入された非水電解質電池であって、前配金属り チウムが帯状微多孔質セパレータの少くとも2ケ 所以上に密着された微多孔質セパレータよりも小 さな繊維状不缺布上に圧着、固定されている事を 件徴とする非水電解質電池。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

との発明は負債活物質に金属リチウムを用いる 非水電解質電池に関するものである。

従来の技術

金属リチウムを括物質とする負極板をセパレー メを介して、正徳板とともに鍋巻状に巻回した柩 根群を有する円筒形リテウム電池において、従来 官心容是を増加させ、かつ極間距離を短くして放 電反応を向上させるため、復めて薄い25~50点 の厚さの黴多孔質セパレータが使用されていた。 その具体的な電池総成を第3図に示す。

図中1は、二酸化マンガンを正極活物質。アセチ レンプラックを導電剤とし、給着剤にポリテトラ フルオロエチレンを用いた正徳板である。2は正 極板に一端が接続された正極集電体であり、その他 娼は封口板下部ワッシャー3と、電気辞接されて

なお、4はアルミリベットであり、5の對口板上 部ワッシャーと、3の對口板下部ワッシャーとを 物理的にかしめることにより、電気的導通を保っ ている。なお、6は鉄化ニッケルメッキした正価 婚子であり、5の封口板上部ワッシャーと電気的 K密接されている。又、ではポリプロピレンから なる樹脂封口板である。8は金属リチウムからな る負征板であり、ロはニッケルからなる負征集電 片であり、10の負徳囃子をかねる鉄にニッケル メッキしたケースと、電気溶接されている。11

特開昭63-202859(2)

はポリプロビレンの数多孔質セパレータ(厚さ 25 m)である。なお、電解液にはプロピレンカ ーポネート、ガンマープチロラクトン、ジメトキ シエタン、テトラヒドロフランなど有機溶媒の単 油、もしくは混合物に過塩素酸リチウム、ボワア の密質を溶解した非水電解質が 用いられる。又、正極活物質として、上配二酸化 マンガン以外にファ化無鉛、ファ化銅などのマ 化物、クロム酸鍋などの酸化物も用いられ、セパレータも、ポリエチレン製の数多孔質セパレータ (厚さ60m)などが用いられることもある。

なお、第2図A,B,C,Dに魚種板とセパレータとの固定関係を示す。A,Bは、もっとと、との関係を示す。A,Bは、もっとと、のので使用されている従来例であり、11は微多のであり、11は微多のであり、11は微多のである。これで、ロ字状に折畳んで魚種板を覆っている。しかし食種板は、セパレータによりはさまれているだけで、特に固定されていないため、正極板ともに巻回する場合、魚種板がセパレータに対して上

問題点を解決するための手段

この問題点を解決するため本発明は、微多孔質 セパレータの少くとも2ヶ所以上にセパレータよ りも小さな繊維状不識布を溶着し、さらにその上 に、負極活物質である金属リテクムを圧着、固定 したものである。

作 用

この構成によれば、負極活物質である金属リチウムは、繊維状不縁布を通して、微多孔質セパレータに圧圧、固定されているため、正極とセパレータで優われた負極と共を渦巻状に巻回する際、金属リチウムのみに巻きずれが発生し、正極と直接接触する事はない。さらに、金属リチウムをセパレータで完全に包被する必要もないため、電解液の負極近傍への浸透も良くできる。

夹 舱 例

第1図A,Bにより本発明の実施例を示す。図中 B は金属リチウムを活物質とする負征板であり、11はポリプロピレン製の像多孔質セパレータ (厚さ25g)である。12はセパレータ11よ 下、左右に移動し正砥板と接触しやすく、内部短絡の原因となる場合が多かった。C, Dはリチウムをセパレータで固定した従来例を示す。図中、B,11は第2図Aと同等であるが、Bの金属リチウムは、これをとり囲むように11のセパレータをヒートシールにすることにより固定されている。

発明が解決しようとする問題点

そのため、負極板の上下、左右へのメレはなくなったが、正極板と共に渦巻状に巻回後、電解液を住液する場合、負極板8の周囲がヒートシールされているため、電解液の浸透が無く、所定量の液量が負極板近傍へ注液できず、電池容量も悪くなるという欠点があった。

本発明は、上記従来例に述べた如く、負極板の 金属リチウムとセパレータを固定し、正極板との 極板群との巻回時に発生する金属リチウムの上下。 左右への移動による正極板との直接接触による内 部短絡を防止すると同時に負極板への電解液の浸 透性も、良好にせんとするものである。

りも小さく短かいポリプロピレン製の繊維状不総布であり、数多孔質セパレータ11に所定間隔をおいて2本熱溶着で固定されている。しかしながら、12のポリプロピレン製不緻布は機維状であることから、8の金属リチウムに物理的に圧着が容易である。従って8の金属リチウムは要異両面を不織布12に圧着することで11の数多孔質セパレータに固定され第1図Bの如くなる。

なお、12の破離状不緻布については、耐非水 電解液性があれば、その材質はポリプロピレン以 外でも良く、繊維状不緻布の形状についても、金 周リテクムの両面もしくは片面で、金周リテウム を固定できればよく、リテウムの巻きずれを可能 にするには2ケ所以上で、なるべく小さい形状が 望ましい。

表1 に、本発明を用いて構成した電池と、従来の技術A,Cにより製造した電池(いずれも直径17 離,高さ33.5 離)の、渦巻状価板群巻回時の内部ショート発生率、および電池の放電特殊時間(604 一定抵抗放電、富温、終止電圧1.8V)

特開昭63-202859 (3)

を示す。

表 1

	内部ショート発生率	放電持統時間
従来例A	30/100	6 0時間
従来例C	0/100	4.6時間
本発明	0/100	6 0時間

発明の効果

以上、負極活物質である金属リチウムを、微多孔質セパレータに熱溶着した複雑状不緻布の上に圧着、固定した本発明の電池は、金銭リチウムの上下、左右移動による正磁板との直接接触による内部短絡を防止すると同時に、微多孔質セパレータの上下が開放されているため、電解液の負極を近傍への含硬が速やかに行われて負値板の濡れも良く、放電持続時間の低下も防ぐ効果があるものである。

4、図面の簡単な説明

第1図A、Bは本発明による負値板のセパレー タへの固定を示す図、第2図A、B、C、Dは従 来のセパレータと負極板の固定を示す図、第3図 は電池の断面図である。

B……金属リチウムからなる負極板。1 1 …… セパレータ、1 2 …… 懐維伏不職布。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

